

令和5年度第2回 田辺市障害者施策推進協議会 会議録

日 時 令和5年11月8日 水曜日 午後7時30分～午後9時15分

場 所 田辺市民総合センター 2階 交流ホール

出席委員 23名

欠席委員 4名

事務局 障害福祉室 柳本室長、栗山参事、植田係長、山田主査、委託事業者

会議事項

1 開会

2 議題

(1) 田辺市第4期障害者計画、第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画に係るアンケート調査の報告について

(2) 田辺市第4期障害者計画、第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画骨子の検討について

令和5年度田辺市障害者施策推進協議会（以下、「協議会」という。）の次第に沿い、柳本室長の司会により開会、協議会条例の規定により会議の進行は会長が務める旨を案内し、進行が大久保会長に移った。

大久保会長の促しにより、植田係長から委員の出欠について、23名の委員が出席しているとの報告があり、過半数の出席により会議が成立していることが確認された。

議題に移り、(1) 田辺市第4期障害者計画、第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画に係るアンケート調査の報告について、アンケート調査報告書(案)の内容を山田主査及び委託事業者から説明したところ次の質疑応答があった。

●会長

資料の文言で「療育介護」と「療育手帳」が混在しているので「療育手帳」に修正してください。また、数値の前年度比較において、前年度データのない項目が「0」と表記されていたり「空白」となっていたりするので、これは「空白」か「-」に統一をお願いします。

●A委員

アンケートのデータの集め方について、記名式でされているんですか。

○事務局

データは無記名です。

●A委員

前回との比較というのは非常に重要なことだと思います。例えば行政がどうだとか、障害のある方がどんなふうを感じるかという比較は大事ですけども、例えば45ページ「就労していない理由」で「重度の障害」を挙げた療育手帳を持っている方は、前回54%で、今回は70%程度で、増えていますが、同じ人が答えているのであれば、障害が進行したから就労出

来なくなったのかなと思ったりするんですけど、答える人が違うと、あんまり意味をなさなくなると思いますが、その辺はどのように捉えていますか。

○事務局

「就労していない理由」で指摘いただいた点はまさにその通りで、定点観測、同じ方を最初にした調査であれば、「重度の障害」のためという割合が高くなれば、障害が進行したということが読み取れるかと思いますが、前回回答された方が必ずしも回答していると限らないので、一概には言えないと考えます。貴重なご意見として承ります。

●B委員

資料1 14ページのグラフで文字が重なり見えにくい部分があります。

○事務局

修正いたします。

●B委員

アンケートの有効回答率という点で、ウェブ回答が64件ありますが、前回の数字は分かりますか。

○事務局

ウェブにつきましては、今回はございませんでした。

●B委員

アンケートの集計表で、まず全体の値があって、その次に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳と手帳の種別ごとに値がありますが、全て同じ幅で表示されているので区別がつきにくく見づらいと感じますが。

○事務局

全体のところと、その次の手帳種別というところが同じレベルの表記だと見方が困惑するということですので、見やすい形の工夫を検討いたします。

●B委員

身体障害者手帳所持者の年度別推移として、「平成31年現在で最も多い3,738人で翌令和2年以降は緩やかな減少傾向で推移し、令和5年では3,618人となっています。」という説明があります。実数では確かに少なくなっていますが、統計上からいうと人口割では、実はちょっと微増しています。そういう捉え方で、何か追記出来ないでしょうか。

○事務局

人口割で見ると増加しているということで、追記する方向で考えてまいります。

●C委員

資料2 48 ページの「意思疎通支援事業」の中に「手話の普及啓発事業」は含まれないのですか。

○事務局

ご指摘いただいた「手話の普及啓発事業」は、障害者計画に含まれる内容で、今回の骨子(案)では、まだ示せておりません。今回の計画では、少し内容を充実して記載する予定としており、次回の素案においてお示しできると考えております。

以上で、議題(1)に対する質疑は終了し、続いて、議題(2)田辺市第4期障害者計画、第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の骨子の検討について、骨子(案)の内容を委託事業者から説明したところ次の質疑応答があった。

●D委員

医療的ケア児支援に関する項目で、令和3年度から5年度にかけて、関係機関の協議の場が未設置、コーディネーターが未配置となっていますが、市内で医療的ケアを必要とされる子供さんは、いらっしゃるでしょうか、いらっしゃらないからこういうことになっているのでしょうか。

○事務局

医療的ケア児については、県の調査に対し、実数は約20人程度と報告しています。関係機関の協議の場については、現在設置のための準備をすすめており、協議が整えば今年度中の設置も可能と考えています。コーディネーターについても県の養成研修講座の受講者を増やし、配置していく予定です。

●E委員

資料2の7ページに、等級別、種類別の身体障害者手帳所持者数がありますが、これは高齢者等、分けられないでしょうか、アンケートの結果では身体障害者手帳をお持ちの高齢者が60、70、80代の割合が結構高いのですが、高齢者になってからのペースメーカーとかそういう方も含まれてしまうので、捉え方も違ってくると思うので、年代別に分けられないのでしょうか。

○事務局

身体障害者手帳をお持ちの方については、高齢の方の比率が非常に高いというデータがあります。アンケートでは対象2,000名の約半数を身体障害者の方に依頼しますが、実施にあたり、そのままの比率で対象の方を抽出しますと、高齢の方の指向が高い結果が予測されますので、将来的な福祉サービスの方向性を考えるという計画の必要上、高齢の方の比率を絞った依頼の方法を採っています。一方、資料2の7ページで示しているのは、市全体で把

握している障害者手帳保持の方なので、このデータの中で高齢化が進んでいる状況を示す方法があれば考えてみたいと思います。

●会長

障害者手帳を持っている人と、いわゆる障害のある人とは違いますので、障害のある人でも手帳の持っていない人がいます。例えば、65歳以上になって障害が認定された方では、障害福祉のサービスを受けられない方もいらっしゃいます。そういった方も含めての部分もあると思いますので、いろいろと難しい面もあるかと思います。

●F委員

漢字の「障害」と「障がい」と平仮名を使っている部分がありますが、どうしてです。

●会長

これは法律用語と説明の違いです。法律用語では漢字の「障害」になっています。

●G委員

障害者計画の話になるかもしれませんが、アンケートでも、相談支援体制の充実を望む意見が多く、身近なところで相談できることが求められていると思います。地域福祉計画でも重層的支援体制の話が出ていましたので、生活圏域を意識した相談体制について、基幹センターも委託相談も設置をされているので、地域づくりを見据えた、体制の必要があると思います。日常生活圏域を意識した、支援体制整備を具体的に示していただきたいと思います。

●会長

今のご意見は要望ということによろしいですか。

●G委員

はい。

●H委員

事業者団体調査について、これは全部の事業所を対象としているのですか。それとも抽出ですか。

○事務局

団体は5団体、事業所は35件いただいています。

●H委員

資料2には「抜粋」とありますが、正式には全部出てきますか。

○事務局

今回の資料では「抜粋」ですが、報告書ではまとめて掲載します。

●H委員

人材不足の状況がもろに出ている結果なので、全体的としてどう対処できるのか。

●会長

特別支援学級の在籍者が、小・中学校で掲載されていますが、田辺市内の高等学校では設置されていないのですか。

●I委員

うなずき

●会長

設置されていないようです。中央教育審議会では、高等学校での設置を決定していますが、文部科学省ではまだです。将来的には高等学校も含まれてくる項目であると思います。

●J委員

資料2 1ページの中ほどの「SDGsの理念とも軌を一にした……支えあう社会」という部分については、“も”を消して「SDGsの理念と軌を一にした」とすれば、理解しやすいと思うのですが。

○事務局

この部分は、国の第5次障害者基本計画から引用しているので、表記についてはこのとおりで、ご理解いただきたいと思います。また「も」という部分には多面的な視点での計画策定の必要性が示されているとも考えます。SDGsの要素については障害者計画、市全体で進める障害者施策の中に盛り込む必要があると考えております。

●K委員

意見を出してアンケートに加えていただいた、自由記述の部分に、本当の気持ちが書かれていると感じています。とにかく我々としては、お金を少しでも増やして、暮らす場所に困らないという最低の線が、今よりも、良くなるように持っていきたいと思いました。

●L委員

災害に関するアンケート項目もありましたが、障害のある方が災害で困らないよう対応を進めていきたいと考えています。

●M委員

資料1の44ページで、「通所・通学していて感じる」として「今の保育所や学校に満足している」という答えが多いのですが、保育所や学校に関する問いかけは、精神障害者の場合、年齢的に合わないと思いますが。

○事務局

これは、その前の質問で、「学校や幼稚園、保育所などへ通っていると」回答された方を対象とした質問となっていますので、学校や幼稚園、保育所などに通っている方に、通所、通学して感じることは何ですかということをお答えいただいたものです。

以上で、議題(2)に対する質疑は終了し、続いて事務局から、下記のとおり次回会議日程の説明があった。

第3回 田辺市障害者施策推進協議会

日時 令和5年12月21日 木曜日 午後7時30分

場所 田辺市民総合センター1階 機能訓練室

他に質疑なく、以上をもって閉会となる。